

残りわずかの2018年 今年の出来事を振り返ります

テニスの全米オープン女子シングルスで大坂なおみ選手が初優勝を果たし、米大リーグのエンゼルスで投打の「二刀流」に挑んだ大谷翔平選手が今季のア・リーグの新人王に輝くなど、北海道に縁のある選手が活躍した2018年。嬉しいお知らせがある一方で、日本国内では大阪府北部の地震、西日本を中心に大きな被害をもたらした『平成30年7月豪雨』、『平成30年北海道胆振東部地震』など、自然災害が多発した年でもありました。皆様にとって、今年はどうな年でしたか。今月号では2018年の占冠村の出来事を振り返ります。

1月は、クラブメッド北海道トマムがグラランドオープンしました。クラブメッド北海道トマムがグラランドオープンしたことで、従業員が多く村に転入し、1月末の人口は1507人となりました。成人式には6人の新成人が出席し、成人としての新たな一歩を踏み出しました。

3月は、メープル樹液の採取体験や製造見学を行う『メープルの森体験ツアー』が実施されました。村の新たな特産品である占冠村産メープルシロップ『トペニワツカ』は、この時期に採られた樹液を長時間煮詰めることで完成します。生成されたメープルシロップは昨年よりも17リットル多い105リットル。生産効率が上昇したことで、より多くメープルシロップを作り出すことが可能となりました。

4月から、村内全ての学校で、小・中学校の教員が思いを共有し、9年間を見通した教育を進める『小中一貫教育』が開始されました。これまで、小学校での学びの成果が中学校で十分に受け継がれない場合があり、学びの連続性に乏しい面もありました。小中一貫教育を開始したことで、柔軟な教員の配置や一貫性のある教育などが可能と

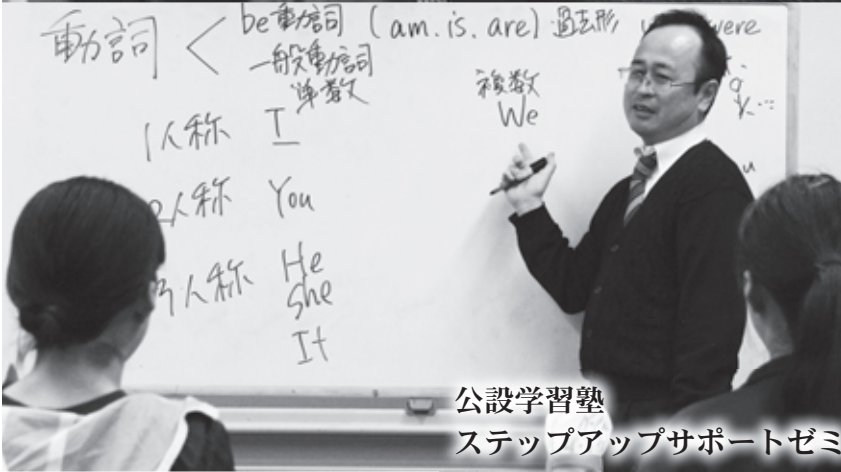


なりました。

5月には、昨年から始まった公設学習塾「占冠村ステップアップサポートゼミ」の授業が開始されました。昨年は中学生のみを対象に実施しましたが、今年は小学校5・6年生も参加できるように対象を拡充しています。また、各学校や保育所で運動会が開催されたのもこの時期。村の子どもたちの活躍を一目見ようと、地域からはたくさんの方が集まりました。子どもたちの元気な姿が、地域を活性化させます。6月は、山菜や林業などの普及を目的とした第4回山菜料理コンクールが開催されました。また、消防総合訓練大会も実施されました。占冠村消防団女性団員の鮮やかな手際に、富良野沿線の消防団関係者から称賛の聲が上がりました。



占冠中央小学校に入学した
新1年生



公設学習塾
ステップアップサポートゼミ



占冠保育所運動会



トナム学校合同学芸会

7月から8月にかけては、夏の風物詩であるお祭りが各地区で開催。また、『平和の村宣言』を具現化した取組である『平和体験学習』に村内中学生が派遣されました。

9月は、敬老会が開催され村に貢献されてきた皆様の長寿をお祝いしました。また、学芸会や収穫祭など芸術や食欲の秋を楽しみました。10月は、アスペン中学生短期交換留学が実施されました。異文化と交流をもつ機会は非常に貴重なもの。中学生だけではなく、地域にとって良い刺激となったことでしょう。

11月は、住民懇談会が村内6会場で開催され、住民の皆様から貴重な意見を頂戴しました。自主創造プログラムで始まった『村民フットサル大会』は11月の恒例事業に。初心者から経験者まで、8チームが集まる活気のある大会となりました。

2018年も残りわずか。今年もたくさんのお出来事がありました。皆様にとって、2018年はどのような年でしたか。